

平成 18 年（2006 年）第 4 回市議会定例会本会議（12 月 8 日）  
民生常任委員長報告（請願）

ただいま議題となりました平成 18 年請願第 6 号定日ごみ収集業務委託の現行制度存続について、民生常任委員会における審査の経過と結果を報告します。

本請願は、平成 18 年 11 月 29 日、横須賀市長井の横須賀環境事業協同組合 理事長 ●●●●さん 外 9 名から提出されたものであります。

委員会は、12 月 1 日の会議において、関係理事者から所見を聴取し、質疑を行いました。

主な質疑を申し上げますと、代行業者との話し合いの経緯及び状況、一般競争入札の周知開始時期、合理化事業計画未策定の理由、代行交付金単価の推移、横須賀環境事業協同組合のパッカー車総数、についてであります。

次いで、討論において、吉田雄人委員から、「現行の定日ごみ収集の代行業務は、いわゆる合特法の趣旨にのっとったものであるが、本市においては、合理化事業計画を策定せず、定日ごみ収集業への転換を本市からお願いした経緯がある。今回、一方的に代行業を全部委託化するというのは、同法の趣旨や、これまでの経緯を無視するものにほかならない。随意契約で、いつまでも代行指定を行うことは無理があるとは感じているが、まず、直営部分を順次委託化してから、代行の委託化について検討を始めるべきである。よって、本請願に賛成する」旨の意見があり、採決の結果、平成 18 年 請願第 6 号は、賛成少数で不採択とすべきものと決定しました。

以上で報告を終わります。